

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称：ワンギーソン染色液 (Van Gieson's Solution)  
製品番号：VGS125, VGS500, VGS999 (メーカー略号: SCY)  
構成品名：Van Gieson's Solution  
会社名：コスモ・バイオ株式会社  
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署：製品情報部  
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619  
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康に対する有害性

皮膚感作性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2(血液系、肝臓、中枢神経系、腎臓)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(血液系)

#### GHSラベル要素



注意喚起語：警告

#### 危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害のおそれ(血液系、肝臓、中枢神経系、腎臓)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(血液系)

#### 注意書き

##### 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

##### 応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

##### 貯蔵

施錠して保管すること。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：2,4,6-トリニトロフェノール(ピクリン酸)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
ピクリン酸	2	88-89-1	3-823
Acid Fuchsin Calcium Salt	0.1	123334-10-1	-
塩化水素	0.074	7647-01-0	1-215

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ピクリン酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ピクリン酸

## 4. 応急措置

### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

### 皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。医療者の指示なく吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。

医師に連絡すること。

### 応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

### 医師に対する特別な注意事項

医師にばく露物質名、変異原性物質であること、防護のための注意を通知する。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、炭酸ガス、泡、粉末消火剤を使用する。

#### 使ってはならない消火剤

データなし

### 特有の危険有害性

乾燥ピクリン酸は爆発性化合物を形成するため、製品を完全に乾燥させないこと。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(土など)に吸収させて、密閉できる空容器に入れ、水中に置く。(乾燥させない)

汚染箇所は乾燥させずに水で十分流すこと。回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

#### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

(製品が付着した衣類は放置せず、すぐに洗い流すか水に浸漬する。)

### 保管

#### 安全な保管条件

施錠して保管すること。常温で保存すること。

容器を密閉し、換気の良い場所に保管すること。

#### 安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値：データなし

### 許容濃度

(塩化水素)

日本産衛学会(2014) (最大許容濃度) 2ppm; 3.0mg/m<sup>3</sup>

(ピクリン酸)

ACGIH(1992) TWA: 0.1mg/m<sup>3</sup> (皮膚感作; 皮膚炎; 眼刺激)

(塩化水素)

ACGIH(2002) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

### ばく露防止

#### 設備対策

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防毒マスク)

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性、耐薬品性)

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(不浸透性、長袖)

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：赤色  
臭い：無臭  
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし  
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし  
引火点：データなし  
自然発火点：データなし  
分解温度：データなし  
pH：酸性  
動粘性率：データなし  
蒸気圧：データなし  
密度及び/又は相対密度：データなし  
相対ガス密度(空気=1)：データなし  
粒子特性：該当なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

データなし

### 化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

乾燥すると衝撃により爆発を起こすおそれがある。

### 避けるべき条件

直射日光、火気、静電気、乾燥

### 混触危険物質

強塩基、還元性物質、金属、アンモニア

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

rat LD50=200mg/kg (環境省リスク評価第3巻: 暫定的有害性評価シート, 2004)

(塩化水素)

rat LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)

#### 急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(塩化水素)

mist: rat LC50=0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009)

gas: rat LC50=1411ppm/4hr (SIDS, 2009)

#### 労働基準法: 疾病化学物質

塩化水素

### 局所効果

#### 皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(塩化水素)

ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

ラビット 軽度の刺激性 (SIDS, 2012)

(塩化水素)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

## [製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

cat. 1; ACGIH, 2001

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性

## [成分データ]

[IARC]

(塩化水素)

Group 3：ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(塩化水素)

A4(2002)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

## [製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

血液系、肝臓、中枢神経系、腎臓 (環境省リスク評価第3巻, 2004)

## [区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

気道刺激性 (環境省リスク評価第3巻, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

## [製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

血液系 (DFGOT vol. 17, 2002)

## [区分2]

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

精巢、肝臓 (厚労省既存化学物質毒性DB, 2014)

誤えん有害性：データなし

---

12. 環境影響情報

生態毒性

**水生環境有害性**

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=85mg/L/48hr (SIDS, 2010)

(塩化水素)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ピクリン酸)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=5mg/L/21days (SIDS, 2010)

**水溶解度**

(ピクリン酸)

1.4 g/100 ml (ICSC, 2008)

(塩化水素)

67 g/100 ml (30°C) (ICSC, 2000)

**残留性・分解性**

[成分データ]

(ピクリン酸)

急速分解性なし (BODによる分解度:23% (既存点検, 2003))

**生体蓄積性**

[成分データ]

(ピクリン酸)

log Pow=2.03 (ICSC, 2008)

(塩化水素)

log Pow=0.25 (ICSC, 2000)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

---

**13. 廃棄上の注意**

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

製品が付着した可燃物(ウエス等)は乾燥を避け、処分については専門家の指示を求める。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

**14. 輸送上の注意**

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの  
防止を確実にを行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類) 塩化水素

国内規制がある場合の規制情報：非該当

---

**15. 適用法令**

毒物及び劇物取締法：非該当

**労働安全衛生法**

名称等を表示すべき危険/有害物

ピクリン酸(別表第9の450)

名称等を通知すべき危険/有害物

ピクリン酸(別表第9の450)

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

ピクリン酸

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

大気汚染防止法

ばい煙

有害物質 政令第1条第1号から第5号

塩化水素

特定物質 政令第10条第1号から第28号

塩化水素

水質汚濁防止法

指定物質

ピクリン酸

法令番号 55

塩化水素

法令番号 5

---

**16. その他の情報**

## 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。